

## 地場農産物や菓子人気

### 大曲駅前で「秋の稔りフェア」きょうまで4年ぶり通常開催



新鮮な農産物や加工品が人気を集めた軽トラ市

大仙市の農産物や加工品を一堂に集めた「秋の稔りフェア」が21日、JR大曲駅前の花人通り商店街と大曲ヒカリオで始まった。4年ぶりの通常開催。雨の中、地元産の新鮮な野菜を買い求める人や秋の味覚を楽しむ人でにぎわった。きょう22日まで。

車両通行止めとした花火通り商店街では、軽トラック22台の荷台を使った「軽トラ市」を開催。市内の生産者団体などが農産物や加工品を売った。母親と訪れ、自分の小遣いで温

室メロンを買った山下暁士君（大曲小2年）は「帰っておじいちゃん、おばあちゃんと一緒に食べたい」と、大事そうに自分のリュックに詰め込んでいた。



菓子の試作品を配布する大曲農高生

会場ではこのほかステージイベントを行い、飲食物を販売。市内高校の生徒のアイデアを基にした食品なども販売、配布した。

商店街に設けた大曲農業高のブースでは、食品科学科の生徒が考案し市内業者が試作したチーズケーキなど菓子4品を無料配布。生徒が「いかがですか」と来場者に声をかけた。試食した人の感想を基に商品化を目指す。無料配布は初日のみ。

大曲ヒカリオには大曲高がブースを設置。生徒

のアイデアを基にこれまで商品化した菓子などを商業科の生徒が売った。本年度は市内産とちおとめをジャムにして生地に練り込み焼いた「とちおとめベイクドチーズケーキ」（130円）を商品化。きょう22日も販売する。22日は午前10時～午後3時。

市や農商工団体でつくるフェア推進協議会などの主催で17回目。感染症対策で2020年は軽トラ市のみとし、21、22年は中止していた。（佐藤拓）

（令和5年10月22日（日） 秋田魁新聞より一部抜粋）

